

まこと通信

社会民主党
田川市議会議員

vol.
15号



佐々木まこと後援会ニュース

佐々木まこと後援会事務所 〒826-0044 田川市大字位登876
TEL:0947-42-1866 mail:makt56@hotmail.com



ご遺志を形にするために



後援会でごみ処理上を見学した時の
大間前後援会長

たな世界に旅立たれた大間前後援会長に心から哀悼の誠を捧げたいと思います。

大間前後援会長は田川市内で中学校の教員を長年務め最後は校長として活躍されました。4年前、後援会長のお願いに上がった時も快く承諾して頂き、その後選挙では会長として陣頭指揮を取って頂きました。

また市議になり不器用に振る舞う私に対しても「ぶつかりながら前に進めばいいんだよ」と背中を押して頂き、まこと通信では毎回環境問題などを寄稿して頂きながら、私の市議の活動

を後押しして頂きました。

最後はゆっくりお話しができたのは、7月の初め頃でした。「まこちゃん、30代で一気に大きくなれ」「2期目の選挙は大変だからな」。もうのどに食事も通らないほど辛い状況にも関わらず、それでも私の今後を案じて下さった言葉を私は一生忘れません。私にできることはご家族にご恩をお返しすること、そして市議としてしっかり活動し、次の選挙でよい結果を墓前に報告することだろうと思います。次回選挙に向け私も全力で頑張ります。

田川市議会議員

佐々木まこと

後援会長のひよりびと



私の家は代々農業を営み、私も退職後1ヘクタール程の水田で水稻栽培を行っている。ところで、我が国の伝統文化や行事は農業や農村に関係するものが

多い。私の地区でもいくつかの行事があり、そのひとつに「亥の子」がある。毎年11月の亥の日に、子ども達がその年に生まれた子の家に集まり「亥の子、亥の子、今夜の亥の子、祝わんものは」と歌いながら「亥の子石」に縄をつけて地面をつき、生まれた子の健やかな成長と家の繁栄を祈るのである。その家ではあんこ餅やお菓子を用意し子ども達に配るのだが、今では子どもの数が少なく、大人の参

加者のほうが多いくらいだ。

私が子どもの頃は、この日が待ち遠しかったのを覚えている。この行事は各地の農村で古くから行われてきたものだが、現在も行っているところは大変少なくなっているようだ(まこと議員の地区も行っている)。それだけに、このような伝統行事はこれから絶やすことなく維持していきたいものである。

後援会長

伊藤龍文

目次

MAKOTO TSUSHIN vol.15 Contents

2面

一般質問

本市の人事政策について 他

3面

9月補正予算報告

「たがわ元気再生振興券」今年度も発行

4.5面

佐々木まことの西へ東へ

写真での活動報告

6面

田川市ニュース&インフォ

田川市のお知らせと情報

7面

インターンシップで学んだこと

議員インターン生の感想

8面

主な活動報告

議員として活動した行動の全てを公開

9月議会 一般質問

●本市の人事政策について

質問：保護課のケースワーカーの数が不足している事への対策は考えているのか。
また近年の生活保護世帯は、若年層や精神疾患等が原因の方など、複雑な案件が増えている。ケースワーカーに対して臨時・嘱託職員による事務支援スタッフの配置を行い、事務負担の軽減を図るべき。
職員のサービス残業が常態化している。
また職員の代休取得分に対する手当が未払いであり、極めて悪質な法律違反である。早急な対策を。

答弁：保護課のケースワーカーについて、事務支援職員の配置については早急に対処していきたい。サービス残業については必要な場合は予算措置も考える。
代休取得分賃金未払いについては調査した上で法律に基づいて適正に対処していきたい。



●田川市幼児教育審議会の答申について

質問：教育委員会としては審議会答申を尊重すると言うことideいいのか。また10月に行われる定例教育委員会までには教育委員会としての結論を出すということideいいのか。

答弁：審議会答申を尊重する。10月に行われる定例教育委員会までには教育委員会としての結論を出したい。

●児童館・児童遊園の整備について

質問：児童館の建設を行い、幼児期から義務教育課程まで安心して遊べ、また学

べる環境の整備を行うつもりはないか。
市内72カ所に設置してある児童遊園は多くが遊具すら設置されておらず荒れ放題になっている所もある。遊具設置について新たな予算措置も含め検討しないのか。

答弁：児童館については、その必要性について研究していきたい。児童遊園については整備面が行き届いていないことは確か。遊具設置や整備について地元地区とも含め検討していきたい。

佐々木は こう思う

本市の人事政策：働いた分は給料を&仕事の仕分けで事務負担の軽減を

田川市の職員数はここ数年で急激に削減した結果、若手職員を中心に事務量が増え慢性的に残業をしております「サービス残業」も行われています。また田川市は土日出勤を代休扱いとしていますが、この代休扱いの場合、100分の135の給与を支払う義務があります。しかし田川市はこれまで支払っていませんでした。どちらも早急な是正が必要です。
保護課のケースワーカーは近年急速に

増えている生活保護世帯に職員配置が追いついていない部署で、慢性的に人員不足の状況です。再任用職員の増員や、後方支援として臨時・嘱託職員による事務支援スタッフを配置することによって仕事の仕分けを行うことが求められています。

児童館・児童遊園の整備について：環境整備を急ぐべき

児童館は子どもに遊びや文化活動等を提供することで、子どもの健全育成を目的とする施設で、他自治体ではおおむね小学校区毎や、市内中心部などに建設されています。他にも児童厚生員という専門の職員を配置し、保護者に対して各種子育て支援などの相談業務も行っています。子育て世代の皆様は特に感じていると思いますが、雨の日へのびのび遊べる場が田川市にはありません。児童館の建設でそういった様々な支援が子育て世代に提供できると考えています。また市立図書館に児童館を併設するなど、既存施設の活用も視野に入れるべきです。

児童遊園は多くの方がご存じの通り遊具が危険という理由で撤去されて以来、遊具が十分に設置されておらず荒れ放題になっている所もたくさんあります。市が児童遊園として認定している以上は管理責任を果たし、特に遊具設置のための必要な予算措置を行うべきです。

正算 補予

「たがわ元気再生振興券」 今年度も発行

9月議会の補正予算では6月及び7月に発生した大雨被害による災害復旧費をはじめとした総額5億847万1千円の増額予算が提案されました。

また昨年度発行された「たがわ元気再生振興券」を今年度も発行するための必要経費850万円も計上されました。これは1万円で1万2千円分の商品券が購

入できる制度で、地元商店街をはじめとした市内の登録店（879店舗）で使用が可能です。

また現在計画が進められている下水道整備に関して、その施策親交に必要な経費を貯蓄している下水道施設整備基金へ2億7986万円を一般会計から繰り入れました。今後下水道整備の具体的施策もあわせ議論していくことになります。



議会基本条例については12月議会での成立を目標に進めており、議案について大学教授の指摘を受けるための予算も議会側の要望で提案されました。予算案は全会一致で可決されています。

第5次総合計画 策定される

田川市の基本的な運営について、平成23年度から平成32年度までの10年間の方針等を定めた田川市第5次総合計画基本構想が可決成立しました。

基本構想を定めた田川市の将来像は「ひとを育て自然と産業が共に息づくまち田川」活力あるものづくり産業都市を目指して」というもの。目標人口は平成32年で約46000人としています。

また重点目標としては①移住・定住化の促進、②ものづくり産業の推進、③循

環型・低酸素社会の構築、を掲げました。特に「移住・定住化の促進」は私も一般質問等で述べてきた事項で、ぜひ進めるべきだと思っています。

ただ将来人口については本当に設定する意味はあるのか、過剰な公共投資を招かないかなどが懸念されます。またこの総合計画を実効性のあるものにするためには具体的にどうするのか、などもしっかり押さえていかないと「絵に描いた餅」になってしまいます。

今後も実行段階をしつかりチェックしながら、また時代の流れによって変更すべき事などは柔軟に対応するなど、議論を深めていきたいと思っています。



補正 予算 (抜粋)

事業内容	補正額	既定額	合計
議会基本条例制定のための大学教授の知見活用のための費用等	48万円	0万円	48万円
6月・7月の大雨災害に対する復旧事業（総額）	2億1306万円	5950万円	2億7310万円
市立幼稚園・小学校・中学校9校のアスベスト分析調査費用	308万円	0万円	308万円
「たがわ元気再生振興券」発行のための補助金	850万円	0万円	850万円
下水道施設整備基金への繰入金	2億7986万円	0万円	2億7986万円
松原炭鉱住宅に関して学術調査を大学へ委託するための費用	75万2千円	296万円	371万円
小学校の少人数学級実施に係る教員人件費の増額分	298万円	1438万円	1736万円

ま佐 ことと 木

の
西
へ
東
へ
!



●8月20日
自治体学会佐賀武雄大会でパネリスト
として発表を行いました。



●8月19日
日本ツイッター学会設立記念シンポで講演。
学会理事にも就任しています。



●7月5日
参院選で福島みずほ党首を応援。
見事3選を果たしました。



●9月7日
手嶋秀昭川崎町長と会談。
地方政治やまちづくりについて
色々教えて頂いています。



●8月29日
東京・法政大学で行われた市民と議員の
条例づくり交流会議で講演。



●8月6日
田川市幼児教育審議会で副委員長
として答申をまとめました。



●7月27日
総務文教委員会で埼玉県北本市を視察。



●8月8日
田川市消防団第8分団格納庫落成式で来賓挨拶。



●10月20日
次期選挙用の写真撮影を行いました。



●9月19日
地元猪位金4区敬老会では
毎年参加者一人ひとりに
記念写真撮影のサービス
を行っています。



●8月18日
社民党自治体議員団九州ブロック研修会で
団結がんばろうを行いました。



●9月18日
佐賀県武雄市の樋渡啓祐市長と。
尊敬する市長の一人です。

今回私は佐々木議員のもとでインターン
をさせていただくという、とても貴重な体験
をさせていただきました。私が佐々木議員の
もとでインターンをしていて感じたことは議
員という職業の難しさです。

私はインターン中に佐々木議員と共に行動
させていただくことが多かったため、佐々木
議員が田川市のことを考えて少しでも田川市
をよくしようとしていることをひしひしと感
じることができました。しかしながら、一般
の市民の方はなかなかこのようなことを知る

機会がありません。むしろ、政治家と聞か
れて腹黒い人という印象を受けるのではない
でしょうか。

政治家にとって大切なことは市民のために
政治活動をするものであるのと同時にそのこ



このインターンシップで議員さんはすごく忙
しいということを知ることが出来たし、議員
さんは市民のために本当に一生懸命だという

とを市民に知ってもらうことなのです。佐々
木議員は市民との直接の対話だけでなく、ブ
ログやツイッターを通して市民の方に自分の
活動を知ってもらおうという努力をされてい
ました。

佐々木議員は市民に開かれた政治を行うこ
とへの姿勢、地元田川を良くしようとする熱
い思いがあるからこそ政治家という仕事を続
けられるのだと思いました。

九州大学2年 米良一輝

ホームページ紹介

佐々木まことの日々の活動をつづるブログ、

佐々木まことの日進月歩

毎日更新

「佐々木充」で検索してください。

<http://sasakimakoto.net/>

INFORMATION

ニュース

議員報酬削減案、継続審査に

自治と議会のあり方を精査し丁寧な議論を



←議会改革も行っています。
(写真は廣瀬克哉法政大学教授に
議会改革について専門的意見を
聞いている様子)

9月議会の最終日になり急きょ議員提案で議員報
酬を5%カットする議案が議員提案で提出され、
継続審査となりました。

私自身はそもそも議員というのは、多様な問題意識
を持った市民で構成されるべきと考えています。その
上で報酬のあり方を考えた際、議員報酬とは別の収入
がなければ議員として活動できない、また生活ができ
ないという状況では、議員になることのできる人がお
のずと限定されてしまう結果になります。それは多様
な問題意識を持った市民で構成されるべき議会のあり
方から大きく外れることとなり、市民自身にとっても
不利益になるのではないのでしょうか。

もちろん議論そのものを否定するものではありませんが、
体系的にそして慎重な議論をふまえた上での議論であ
るべきです。

ニュース

320万円もの価格差が

市役所コピー用紙購入単価、入札で約半額に



平成21年度に田川市が購入したコピー用紙の
単価（A4：2500枚当たり3045円）が平成
22年度後期分約半額（A4：2500枚当たり1659円）
ということが分かりました。

ニュース

大雨豪雨が毎年問題に

集中豪雨に抜本的対策を



←側溝から水があふれ出し、
冠水している様子（猪位金地域）

7月13日、田川市内をいわゆる「ゲ
リラ豪雨」が襲い、浸水や土砂崩れ
など市内一帯に大きな被害を与えました。
特に猪位金地域は林道の崩壊など地域別被
害額では最も大きな額になっています。ま
た9月補正予算では災害復旧のため総額2
億7900万円もの税金を投入し、復旧に当
たることが決まっています。

特に毎年用水路から水があふれ、道路や
田畑に大きな被害を与えている場所もあり
ます。田川市全体で今年の被害を分析し、
来年の被害を少しでも未然に防ぐ努力をす
べきです。私も地域の皆様の声を聞き、訴
えていきます。

佐々木まことの主な活動報告

4日	大間勝徳前後援会長お通夜	1日	田川市幼児教育審議会
3日	議会基本条例検討委行政視察(埼玉県)	2日	田川市幼児教育審議会
2日	議会基本条例検討委行政視察(埼玉県)	3日	田川市幼児教育審議会
1日	中元寺川水辺公園落成式	4日	田川市幼児教育審議会
31日	後藤寺商店街名越し祭り	5日	大間勝徳前後援会長葬儀
30日	田川地区清掃施設組合協議会	6日	田川市幼児教育審議会
29日	田川市幼児教育審議会(東京都)	7日	議員インターン受け入れ日
28日	田川市幼児教育審議会(東京都)	8日	田川市消防団第8分団格納庫開所式
26日	田川地区清掃施設組合運営協議会	9日	議会基本条例検討特別委正副委員長会議
24日	猪位金小学校ふれあいキャンプ	10日	議会基本条例検討特別委員会
23日	久保田実生添田町議支援行動	11日	田川市幼児教育審議会答申提出
22日	久保田実生添田町議支援行動(添田町)	12日	田川地区清掃施設組合協議会
21日	議会基本条例検討特別委正副委員長会議	13日	田川地区清掃施設組合協議会
20日	久保田実生添田町議支援行動(添田町)	14日	田川地区清掃施設組合協議会
18日	猪位金校区防犯パレード	15日	田川地区清掃施設組合協議会
17日	高教組田川支部大会	16日	田川地区清掃施設組合協議会
16日	古賀靖典県議予定候補後援会	17日	田川地区清掃施設組合協議会
15日	社民党福岡県連合常任幹事会(福岡市)	18日	田川地区清掃施設組合協議会
14日	社民党福岡県連合常任幹事会(福岡市)	19日	田川地区清掃施設組合協議会
13日	久保田実生添田町議後援会会議(添田町)	20日	田川地区清掃施設組合協議会
12日	久保田実生添田町議後援会会議(添田町)	21日	田川地区清掃施設組合協議会
11日	参院選投票日	22日	田川地区清掃施設組合協議会
10日	田川美術館「英展」授賞式	23日	田川地区清掃施設組合協議会
9日	田川美術館「英展」授賞式	24日	田川地区清掃施設組合協議会
8日	田川美術館「英展」授賞式	25日	田川地区清掃施設組合協議会
7日	田川美術館「英展」授賞式	26日	田川地区清掃施設組合協議会
6日	田川美術館「英展」授賞式	27日	田川地区清掃施設組合協議会
5日	田川美術館「英展」授賞式	28日	田川地区清掃施設組合協議会
4日	田川美術館「英展」授賞式	29日	田川地区清掃施設組合協議会
3日	田川美術館「英展」授賞式	30日	田川地区清掃施設組合協議会
2日	田川美術館「英展」授賞式	31日	田川地区清掃施設組合協議会
1日	田川美術館「英展」授賞式		



佐々木まこと経歴

SASAKI Makoto Profile

1981年5月 田川市で出生

1997年3月 田川市立猪位金中学校卒業

2000年3月 福岡県立東郷高等学校卒業

2004年3月 龍谷大学法学部政治学科卒業

2006年3月 北九州市立大学大学院法学研究科修了(法学修士)

2006年4月 社会福祉法人猪位金福祉会暖家の丘入社(現)

2007年4月 田川市議会議員当選(25人中7位・1363票)

現在 総務文教委員会副委員長、田川地区清掃施設組合議会監査委員、社民党福岡県連合青少年局長、社会新報地方記者、東郷同窓会理事

市民相談・無料法律相談 受け付けています。

市民相談、労働相談など各種相談をいつでも受け付けています。また月1回、弁護士による無料法律相談も行っていますので、お気軽に電話、メールでお問い合わせください。

連絡先 0947-42-1866
mail:makt56@hotmail.com